

2 道徳教育推進上の配慮事項



(1) 道徳教育を推進するときに配慮することは、どのようなことなのだろう？

道徳科を要として学校の教育活動全体を通じて行うものです。次の配慮事項を確認しておきましょう。



校長の方針の下に、道徳教育推進教師を中心に、全教師が協力して展開する。

児童生徒の発達の段階を踏まえ、指導内容の重点化を図る。

学校や学級内の人間関係や環境を整える。

集団宿泊活動やボランティア活動、自然体験活動、地域の行事への参加など豊かな体験を充実する。

児童生徒の日常生活に生かされるようにする。

家庭や地域社会との共通理解を深め、相互の連携を図る。

《学校や学級内の人間関係や環境を整える》

児童生徒の道徳性の多くの部分は、日々の人間関係の中で養われます。教師と児童生徒の人間関係は、教師に対する児童生徒の尊敬と共感、児童生徒に対する教師の教育的愛情、そして相互の信頼が基本になります。教師自身がよりよく生きようとする姿勢を示したり、教師が児童生徒を尊重し児童生徒から学ぼうとする姿勢を見せたりすることで信頼が強化されていきます。そのためにも、教師と児童生徒が共に語り合うことのできる場を日常から設定し、児童生徒を理解する有効な機会となるようにすることが大切です。また、児童生徒相互の人間関係を豊かにするには、相互の交流を深め、互いが伸び伸びと生活できる状況をつくるのが大切です。児童生徒一人一人が互いに認め合い、励まし合い、学び合う場と機会を意図的に設けることが必要です。

教師と児童生徒が人間としてのよりよい生き方を求め、共に考え、共に語り合う道徳科の時間は、まさにそのような場だといえます。

《道徳教育の指導内容と児童生徒の日常生活》

道徳教育で養う道徳性は、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となるものです。日常生活においても、人から言われるからといった理由や周りのみんながしているからといった理由ではなく、物事を多面的・多角的に考え、自らの判断により、適切な行為を選択し、実践するなど、道徳教育で育まれた道徳性が児童生徒の日常生活に生かされるようにすることが大切です。

いじめの防止や安全の確保といった課題についても、道徳教育や道徳科の特質を生かし、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことで、児童生徒がそれらの課題に主体的に関わることができるようにしていくことが大切です。道徳教育においては、道徳科を要とし、教育活動全体を通して、生命を大切にす心や互いを認め合い、協力し、助け合うことのできる信頼感や友情を育むことをはじめとし、節度のある言動、思いやりの心、寛容な心などをしっかりと育てることが大切です。



(2) 道德教育は、いつ、
どこで行えばよいのだろ
う？

道德教育は、学校の教育
活動全体で行わなければ
なりません。



学校の教育活動全体とは、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動など、全ての教育活動を指します。各教科等の指導を通じて児童生徒の道德性を養うためには、教師の用いる言葉や児童生徒への接し方、授業に臨む姿勢や熱意といった教師の態度や行動も大きく影響します。また、次の視点が大切です。

- ア 道德教育と各教科等の目標、内容及び教材との関わり
- イ 学習活動や学習態度への配慮

例えば教科の中で次のような点を意識することが大切です。

小学校理科 では

◇教科の目標◇

「自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てるとともに、自然の事物・現象についての実感を伴った理解を図り、科学的な見方や考え方を養う。」

- 栽培や飼育などの体験活動を通して自然を愛する心情を育てる。
 - 生命を尊重し・自然環境を大切にする態度の育成につながる。
- 見通しをもって観察、実験を行うことや、問題解決の能力を育て、科学的な見方や考え方を養う。
 - 真理を大切にしようとする態度の育成に資する。

中学校保健 体育科では

◇教科の目標◇

「心と体を一体として捉え、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。」

- 集団でのゲームなど運動をすることを通して
 - 粘り強くやり遂げる、ルールを守る、集団に参加し協力するといった態度が養われる。
- 健康・安全についての理解
 - 生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直すことにつながる。

道德科は、各教科等における道德教育を、補ったり、深めたり、相互の関連を考慮して発展させたり、統合させたりする要としての役割があります。

各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動にはそれぞれ固有の目標や特質があり、それらを重視しつつ教育活動が行われます。しかし同時に、それぞれの教育活動においても道德教育の役割をも担っています。道德科は、道德性を養うことを目指すものとして、その中核的な役割を果たすことから、道德教育における「要」と位置付けられています。

各教科等の目標や内容、教材、学習活動や学習態度への配慮には、児童生徒の道德性を養うことに関わりの深い事柄が含まれています。また、各教科等において道德教育を適切に行うためには、まずそれぞれの特質に応じて道德の内容に関わる事項を明確にする必要があります。それらに含まれる道德的価値を意識しながら学校独自の重点内容項目を踏まえて指導することが大切です。



(3) 重点的指導とは、
どのようなことだろう？

各学校の道徳教育の目標
を踏まえ、重点的に指導
する内容項目を設定し、
計画的、発展的に指導す
ることです。



① 育てたい児童生徒の姿を明確に しましょう。



私の学校では、「しっかりとした規範意識を
もち、相手のことを思いやれる人間に育っ
てほしいと願っています。」

本校の、道徳教育のポイントは、
「規範意識」と「思いやり」ですね。



育てたい児童生徒像をもとに、
自校の道徳教育のポイントを確認します。

② 重点目標を確認しましょう。



これまでの本校の道徳教育の目標は、「人間尊重の
精神を生かし、道徳的判断力、道徳的心情、道徳的
実践意欲と態度を高め、道徳性を養う。」でした。

漠然とした目標では、学校として何を重点に道
徳教育を行うのかが分かりにくいですね。
先ほど明確にした、本校の道徳教育のポイント
である「規範意識」と「思いやり」を基に、よ
り具体的な目標を考えてみましょう。



「人間尊重の精神を生かし、思いやりの
心をもって、規範を尊重しようとする生
徒を育成する。」と改善しました！

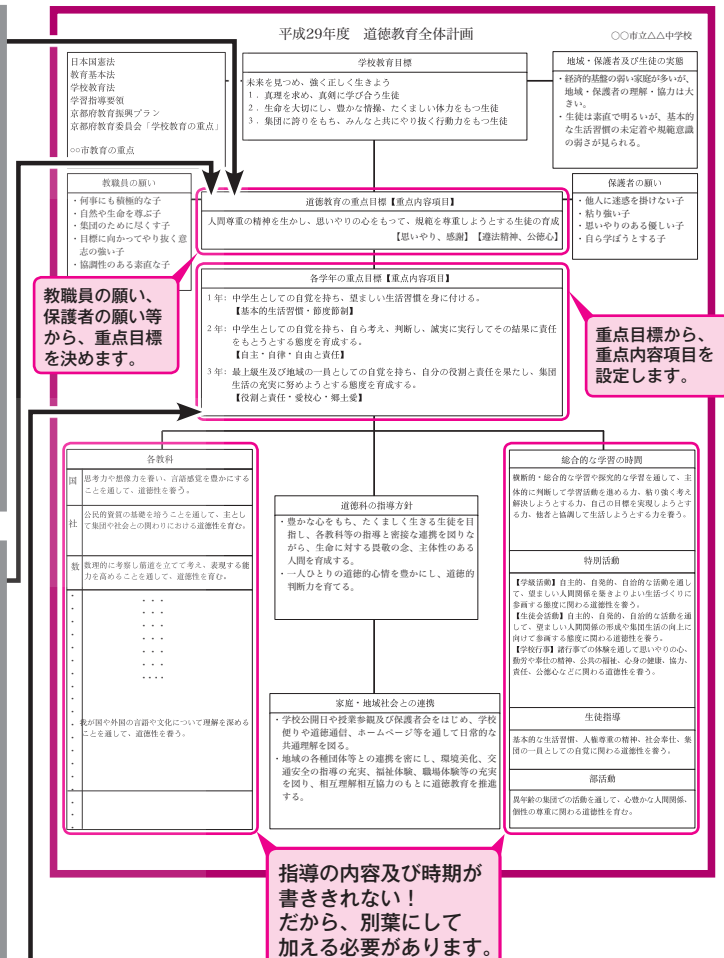
具体的で、分かりやすくなりましたね。

③ 重点内容項目を確認しましょう。



本校の道徳教育のポイントは「規範意識」と「思
いやり」ですから、重点内容項目は、Bの視
点の「思いやり、感謝」とCの視点の「遵法
精神、公德心」になりますね。

- 各教科や外国語活動、総合的な学習の時間、特
別活動等において、これらの内容項目にかかわ
る指導がいつ、どのように行えるかを考えてみ
ましょう。これを、一覧表にしたものが、全体
計画の「別業」になります。
- 道徳科の指導の重点にもなり、年間指導計画で
も複数回位置付けられる内容項目になります。



各学校においては、道徳教育の目標を踏まえ、道徳教育の全体計画を作成し、校長の方針の下に、道徳教育推進教師を中心に、全教職員が協力して道徳教育を展開すること。なお、道徳教育の全体計画の作成に当たっては、児童生徒、学校及び地域の実態を考慮して、学校の道徳教育の重点目標を設定するとともに、道徳科の指導方針、道徳科の内容との関連を踏まえた各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動における指導の内容及び時期並びに家庭や地域社会との連携の方法を示すことと示されています。

どのような内容を重点的に指導するかは、最終的には、各学校が学校の実情や児童生徒の実態などを踏まえ決定するものですが、その際には社会的な要請や今日的課題について配慮することも大切です。



(4) 全体計画
を作成すること
には、どのよう
な意義があるの
だろう？

学校としての重点目標を明確にし、全教師が共有することで、学校の教育活動全体で行う道徳教育に方向性をもたせることができます。全教師が全体計画と別葉の作成に参加し、その活用を図ることで、道徳教育の方針やそれぞれの役割についての理解が深まり、組織的で一貫した道徳教育が展開できるようになります。

また、道徳教育の要としての道徳科の位置付けや役割を明確にすることができ、道徳科の年間指導計画を作成するよりどころにもなります。



全体計画を一覧表にして示す場合は、必要な各事項について文章化したり具体化したりしたものを加えるなどの工夫が必要です。例えば、各教科等における道徳教育に関わる指導の内容及び時期を整理したもの、道徳教育に関わる体験活動や実践活動の時期等が一覧できるもの、道徳教育の推進体制や家庭や地域社会との連携のための活動等が分かるものを別葉にして加えるなどして、年間を通じて具体的に活用しやすいものにすることが大切です。

別葉の様式は、様々なものが考えられますが、ここでは、3つの例を紹介します。

①教科等を縦軸、内容項目を横軸に整理した例

[illegible]

②月順に内容項目ごとに整理した例

[illegible]

③月順に各教科ごとに整理した例

[illegible]



(5) 道德教育や
道德科の授業は、
だれが行うのだろう？

校長の方針の下に道德教育推進教師を中心として
全教師が協力して取り組
むことが大切です。



校長は道德教育の充実・改善の方向を視野におきながら、学校の教育目標との関わりにおいて、道德教育の基本的な方針等を明示する必要があります。

それに基づいて全教師が協力し、学校の道德教育の諸計画を作成し、展開していくことが大切です。
その際、道德教育を充実させていくために道德教育推進教師が位置付けられています。

学校が組織体として一体となって道德教育を進めるためには、その実態や課題等に応じて、学校として推進すべき事項を明らかにした上で、道德教育推進教師の役割についても押さえておくことが重要になります。道德教育推進教師が全体を掌握しながら、全教師の参画、分担、協力の下に道德教育が円滑に推進され、充実していくように働きかけていくことが望まれます。そして、各教師がそれぞれの役割意識を持ち、自らの役割を進んで果たすことが求められます。そのために、全教師が指導力を発揮し、協力して道德教育を展開できる体制を整える必要があります。

道德科においては、主として学級の児童生徒を周到に理解している学級担任が計画的に進めるものですが、学校の道德教育の目標を達成させる意味から学校や学年として一体的に進めなければなりません。全てを学級担任任せにするのではなく、全教師が協力し合う指導体制を充実することが大切になります。



(6) 幼稚園、小学校、
中学校、高等学校を
通じての道德教育とは？

幼稚園から高等学校まで、
発達の段階を踏まえて
行うことが大切です！



社会の一員としての自己の生き方を探求するなど人間としての在り方
生き方についての自覚を一層深める指導を充実することが大切です。

高等学校

人間としての**在り方生き方**
への自覚を一層深める。

思春期の特徴を考慮し、社会との関わりを踏まえ、人間としての生き
方を見つめさせる指導を充実することが大切です。

中学校

人間としての**生き方**への
自覚を促す。

生きる上で基盤となる道德的価値観の形成を図る指導を徹底すると
もに自己の生き方についての指導を充実することが大切です。

小学校

自己の生き方についての
考えを深める。

各領域を通して総合的な指導を行い、規範意識の芽生えを培うことが
大切です。

幼稚園

道德性の**芽生え**を培う。

各学校においては、これらのことを踏まえ、児童生徒の実態を十分考慮して、何をどのように指導すればよいのか、という指導の基本的配慮事項を確認しておくことが大切です。



(7) 道德教育は、学校だけで進めていてよいのだろうか？

学校、家庭、地域社会がそれぞれの役割を果たし、それらの間に一貫した方針が保たれることが大切です。



特に、日常生活における基本的な生活習慣や望ましい人間関係、社会生活上のルールなどの規範意識にかかわる道德実践の指導は、家庭や地域社会の果たす役割が大きいといえます。



学 校

学校と家庭・地域社会との連携



家庭・地域社会

- こんな心を育てたい。
- こんな道德教育をしています。
- こんなことを一緒にしましょう。

発 信

我が家でも取り組んでみよう。

- 地域人材を活用した道德科・総合的な学習の時間・生活科などの授業
- 読み聞かせボランティア

協 力

こんな体験・思いを伝えたい。

- 道德科の内容や子どもの様子を見てほしい。

道德科の参観 ＋ 懇談会

こんなことを道德教育で育ててほしい。

例えば、こんな取組が……

学校だより、PTAの文集など、校内全校配付の文集に「京の子ども 明日へのとびら」の1節を掲載する。

授業参観で道德の授業を公開する。地域の方々にも公開する。

登下校時を活用して、学校・地域社会が協力してあいさつ運動を展開する。横断幕を作って盛り上げる。

地域社会に向けた道德教育や特別活動だよりを発行し、道德科の授業の様子を伝える。

地域の人といっしょに、休日ゴミ拾いボランティア「キッズC (Clean) C (Communication) 隊活動」(木津川市)に参加させる。

「道德だより」で道德科の授業のねらいや内容、子どもの発言などを伝える。